

Stripe、不正利用防止やキャッシュフロー向上、ノーコード化など、 ビジネスニーズに寄り添った決済機能を続々とアップデート

東京 – インターネット向け経済インフラのプラットフォームを構築する Stripe は、今年春に提供を開始した[コンビニ決済](#)や[銀行振込](#)などの日本市場に特化した機能に続き、セキュリティを強化する 3DS2 へのアップグレードや、カスタマーポータル
のノーコード化、30 日間かかっていた売上入金サイクルを 4 日間に短縮するなど、日本のビジネスニーズに沿ったプロダク
トの機能アップデートを実施しました。

主な機能アップデート

● 3D セキュア 2.0 (EMV-3D セキュア) への完全移行

[3D セキュア](#)は、クレジットカードの不正利用を防止するための本人認証規格です。3D セキュア 2.0 (EMV-3D セキュア あるいは 3DS2) は、一度だけ使えるワンタイムパスワードによる認証により、第三者によるアクセスの抑
止や、パスワードの管理が容易となります。ブランド認証ページに遷移する動きが必要となっていた前バージョンの
3D セキュア 1.0 (3DS1) と比べ、セキュリティの強化だけでなく、認証手順の改善によるユーザビリティの向上と
ドロップ率 (かご落ち率) の解消が期待されます。なお、既に Stripe で 3D セキュア 1.0 をお使いの方は、追
加の対応を行う必要なく自動的に 3D セキュア 2.0 へと移行されます。また、昨今[増加傾向にある不正使用
および不審請求](#)を機械学習で防ぐ [Stripe Radar](#) と組み合わせることで、より盤石なセキュリティ対策を行うこと
もできます。

3DS 2.0: セキュリティの強化に加え、ユーザーの決済体験および購入率の向上に貢献

<div style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 5px; border-radius: 5px; margin-bottom: 10px;"> セキュリティの 大幅強化 </div> <ul style="list-style-type: none"> ワンタイムパスワード、生体認証、QRコードスキャン等の本人確認に対応 第三者によるアクセス抑制のほか、 パスワード管理が容易に 	<div style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 5px; border-radius: 5px; margin-bottom: 10px;"> ユーザー体験の向上 </div> <ul style="list-style-type: none"> 前バージョン3DS 1.0では、ブランド認証ページへの遷移が必須 この認証手順が改善されたことにより、ユーザビリティが大幅に向上 	<div style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 5px; border-radius: 5px; margin-bottom: 10px;"> かご落ち率の改善 (ドロップ率) </div> <ul style="list-style-type: none"> フリクションレス・フローの採用で、決済する度に求められていた認証・パスワード入力が原則不要に 離脱によるかご落ちリスクの軽減で、購入率の向上が期待されます 
		

詳細はこちら : <https://stripe.com/jp/guides/3d-secure-2>

● カード取引の売上入金を 4 日間に統一

JCB 取引の売上の入金サイクルを 30 日から最短 4 営業日後に短縮し、Visa、Mastercard、American Express などの Stripe で扱える全てのカードブランドの入金日を同一にしました。全ての売上入金サイクルが 4 営業日になることで、キャッシュフローの向上をもたらすと共に、売上金の入金予測やトラッキングなどがこれまで以上に容易になります。

詳細はこちら：<https://stripe.com/docs/payouts>



主要カードブランド | 売上入金を 4 日間に統一

VISA



JCB

AMERICAN EXPRESS

DISCOVER



● 銀行振込の入金確認頻度を向上

今まで約 1 日かかっていた銀行振込の自動入金確認 (消し込み) を、1 時間毎に実施できるよう頻度を向上しました。これにより、お客様からの入金を一日待たずとも確認ができ、より細かく、より早く把握することができるようになります。



銀行振込 | 入金の確認頻度 (消し込み)

今まで

アップデート後

約 1 日



約 1 時間ごとの確認

銀行振込の
自動入金確認 (消し込み)

- ✓ 顧客からの入金をいち早く確認・把握
- ✓ 売上資金を事業への活用

● 請求・サブスク管理ができるカスタマーポータルをノーコードに

お客様のアカウント情報を一元管理できる「カスタマーポータル」を、ノーコードでご利用頂けるようになりました。日本でもご要望の多かった機能で、お客様に URL リンクを提供するだけで、お客様側でサブスクリプション（サブスク）の更新、一時停止やキャンセル、決済手段の更新、請求書（インボイス）履歴の表示などができるようになります。ノーコード化することにより、お客様への連絡、新しいカード情報の登録、カード情報とサブスクリプションの紐付けや契約の管理などの隠れた負担・コストを軽減します。

詳細はこちら：<http://stripe.com/docs/customer-management>

The screenshot displays the Stripe Customer Portal configuration interface. The main panel shows settings for the Customer Portal, including a link to the portal (billing.stripe.com/p/login/cN23cA5Kla6qdCo5kk), and sections for Invoices, Customer Information, Payment Methods, Subscriptions, and Business Information. A preview window on the right shows the customer's view of the portal, including their plan (Free), payment method (Visa), and invoice history.

請求先情報	金額	ステータス	プラン
2022/09/01 仕	\$0.00	支払い済み	Free
2022/08/01 仕	\$0.00	支払い済み	Free
2022/07/01 仕	\$0.00	支払い済み	Free



決済は常にビジネスや文化の発展と共に進化しており、その変化に対応した技術や製品を提供する必要があります。200以上の国と地域から決済を受け付け、1日あたり5億件に上るAPIリクエストに対応するなど、グローバルに展開するStripeの技術と知見が日本向けの機能アップデートにも生かされています。

ストライプジャパン 共同代表のダニエル・ヘフェルナンは次のように述べています。

「Stripeでは、ユーザーのご要望にお応えするだけでなく、ユーザーやその先にいらっしゃるお客様がより安全に、より簡単にご利用頂けるよう、常に機能をアップデートしています。今後も、インボイス制度（適格請求書保存方式）への対応や不正利用への強化など、様々なビジネスニーズに寄り添った製品を提供して参ります。」

#####

Stripe について

Stripeは、企業向けの経済的インフラストラクチャを構築する会社です。スタートアップから世界的な大企業まで、数百万におよぶ企業がStripeを導入して支払いを受け取り、収益を成長させ、新たなビジネス機会を加速させています。サンフランシスコとダブリンに本社を持つStripeは、インターネットのGDPを拡大させることを使命に掲げています。

詳しくは <https://stripe.com/jp> をご覧ください。